

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	スーパーデザイナー学科	夜・通信	540	320	
	ファッションクリエイター学科 (アパレルデザイナー専攻、パタンナー専攻、オートクチュール&舞台衣装専攻、ニット専攻、3Dモデリスト専攻)	夜・通信	600	240	
	ファッションクリエイター学科 (クリエイティブデザイナー専攻)	夜・通信	360	240	
	ブランドマネジメント学科 (ショップ開発専攻)	夜・通信	360	240	
	ブランドマネジメント学科 (プロデューサー専攻)	夜・通信	330	240	
	スタイリスト学科	夜・通信	210	160	
	ファッションビジネス学科 (バイヤー専攻、ショップスタッフ専攻)	夜・通信	270	160	
	ファッションビジネス学科 (プレスインフルエンサー専攻)	夜・通信	270	160	
	(備考)				

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ掲載のシラバスページに、「実務経験のある教員等による授業科目」一覧を掲載。
<https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/jitsumu.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ「理事（役員）名簿 2021 年度」に掲載。
<https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/yakuin2021.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社経営 (2003. 4. 1～)	2005. 5. 24 ～ 2025. 5. 23	コンプライアンスへの 指導・助言担当
非常勤	会社経営 (2013. 6. 1～)	2021. 5. 24 ～ 2025. 5. 23	教学全般への 指導・助言担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>全学科・学年・コース別の授業計画(シラバス)を整備し、年度初めにホームページで公表している。シラバスの作成、改定に当たり、</p> <p>①シラバス項目は全学科共通の項目に統一した。ただ、授業科目の特性に応じて配慮が必要と判断される場合は、適切に処理し記載している。</p> <p>②授業の到達目標(学修成果)については、授業科目の特性を検討し、学生が該当する授業科目を修得したことで期待される「知識として知ったこと」「理解したこと」、その結果、「なにができて、なにができないか」を明確にするとともに、具体的に記載している。</p> <p>③成績評価の方法や基準については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の進捗状況との関連を重視し、筆記テストの実施時期やレポート課題、成果物の提出時期についても配慮し、重なることの負担を軽減した。 ・成績の評価方法は、テスト、レポート、提出成果物等、複数の評価方法を採用する場合は、その配分を明記するように努めた。 ・授業科目の評価は素点で行い、それをA、B、C、D、Eの5段階で評定。授業の到達目標に対応した成績評価基準の設定を進めた。 	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページに掲載</p> <p>https://www.osaka-bunka.com/education/syllabus.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。</p> <p>成績評価は、平素の学習態度、出席状況、試験、提出課題、成果物などをもとに総合的に評価。各科目の成績は前・後期を勘案し、学年末に総合評価する。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価でのGPA等の指標は設定していない。その理由は大学等のように単位制ではなく、時間制(授業時間数は年間800時間以上)であるため。よって公表はない。

ただ、学生が自分自身の成績を判断する材料として学年別・学科別・コース別に学生個人の総合成績の平均点、および席次を記載し、学生には公表している。

一方、授業科目の担当教員にとっても、GPA等の客観的な指標があれば、学生の授業理解の度合いを判断し、授業内容の見直しに活用できるメリットがある。

そこで、成績分布状況の把握・分析を狙いに、学年別・学科別・コース別に総合成績分布表を作成。期末に担当教員による学園生活全般に関することと共に授業内容についてのヒアリングを実施。授業の改善や理解度の判定の一助としたい。

成績評価は以下のABCDEの5段階で評定。レターグレード(評価)と評定区間、および評価基準の対応は次のとおりである。

評価(100点満点の目安) … 評価基準

- ・A (100点～90点) … 基本的な目標を十分に達成し、優秀な成果を収めている。
- ・B (89点～75点) … 基本的な目標を十分に達成している。
- ・C (74点～65点) … 基本的な目標を達成している。
- ・D (64点～55点) … 基本的な目標を最低限達成している。
- ・E (54点以下) … 基本的な目標を達成していない。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ「2020年度自己評価報告書」に掲載
https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/self_evaluation_2020.pdf

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学科の在学期間に定められた履修規定に従って科目の授業時間を修得する事により卒業が認定され、専門士あるいは高度専門士の称号が与えられる。 なお、各学科には以下の卒業作品制作が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦スーパーデザイナー学科 (4年制) 卒業年次において個人ブランド5スタイリング以上の制作。卒業作品発表会で発表。 ◦ファッションクリエイター学科 (3年制) グループによる8スタイリング以上の作品制作。卒業作品発表会で発表。 ◦ブランドマネジメント学科 (3年制) ショップ開発コース 3カ月間の学外実習店舗の企画提案および運営、決算 ◦ブランドマネジメント学科 (3年制) プロデューサーコース 市場起点のオリジナル商品の企画制作、企画案、商品の展示発表。 ◦ファッションビジネス学科 (2年制) グループによる卒業作品発表会での2日間限定のオリジナルショップ開発とその運営 ◦スタイリスト学科 (2年制) 卒業作品発表会に向けスタイリングの企画立案、ショー形式による発表。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ「2020年度自己評価報告書」に掲載 https://www.osaka-bunka.com/assets/about/pdf/self_evaluation_2020.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて概要を公開 https://www.osaka-bunka.com/about/hyouka.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	財産目録冊子を学院事務局で閲覧請求可
事業報告書	ホームページにて概要を公開 https://www.osaka-bunka.com/about/hyouka.html
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	スーパーデザイナー学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4470 単位時間/単位	450 単位時間 /単位	3990 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		89人	1人	9人	9人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 。スーパーデザイナー学科 世界で通用し、独立志向の強いデザイナー養成が目的。クリエイティブなデザイン力と自らのブランド構築の為、2年次に外部でグループブランドの制作、展示販売。3年次では商品企画演習等の講義と実習を組み合わせた実践授業に重点を置いている。例年行う伊ポリモード校での短期留学の代わりに、海外校のオンライン授業等も行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、Eの5段階で評定。C、D、Eは不認定となる。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	2人 (28.6%)	4人 (57.1%)	1人 (14.3%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率が86%で、希望者内定率は67%となっている。</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>アパレル業界の業界説明を年2回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、万節指導なども適宜行っている。しかしながら2020年度はコロナ禍により大幅に制限された。</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ファッションコンテスト「装苑賞」に2名が入選。東京コレクション関連イベントであるアジアファッションコレクション最終審査へ3名参加。国際コンテスト「大連杯」優秀賞が1名。</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75人	8人	10.6%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>主な理由は、ファッションではない学校への進路変更、学業不振など、学業に係るものが多いが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを行うようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションクリエイター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3150 単位時間/単位	270 単位時間 /単位	2880 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
300人	339人	10人	16人	22人	38人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>・ファッションクリエイター学科</p> <p>アパレル企業で企画職、技術職として活躍できる人材育成。2年次から将来の職種に対応して、クリエイティブデザイナー、アパレルデザイナー、パタンナー、オートクチュール&舞台衣装、ニット、3Dモデリストのいずれかのコースを選択する。3年間を通して共通科目の「デザイン」「パターン」「縫製」「3D」を修得。服づくりの基本から高度な技術に裏打ちされた応用力を身に付け、コース選択によって、希望職種に必要な専門性を付加する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、Eの5段階で評定。Eは不認定となる。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
63人 (100%)	1人 (1.6%)	29人 (46%)	33人 (52.4%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界、スタイリスト事務所への就職をしており、就職希望者率が71%で、希望者内定率は62%となっている。</p>			

<p>(就職指導内容)</p> <p>アパレル業界の業界説明を年2回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、万節指導なども適宜行っている。しかしながら2020年度はコロナ禍により大幅に制限された。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>日本ファッション振興協会主催のパターンメイキング1級に2名が合格。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
324人	39人	12.0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>主な理由は、ファッションではない学校への進路変更、学業不振など、学業に係るものが多いが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを行っている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ブランドマネジメント学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3030 単位時間/単位	1515 単位時間 /単位	1335 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		89人	3人	4人	10人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>・ブランドマネジメント学科</p> <p>・ショップ開発コースは、企業で中核となる人材、または将来、ショップオーナーとして起業を目指す人材を育成。2年次からは企業で長期インターンシップを通して、現場対応型の実践力を身に付け、3年次には企業の協力を得て、長期運営店舗を企画立案、商品調達に取り組み、市街地において3カ月間のショップ運営に携わる。</p> <p>・プロデューサーコースは、市場起点の発想で商品開発、ブランド構築できるプロデューサー育成のコース。ショップ開発コースとの違いを出すため、アパレル商品演習（パターン・縫製）、アパレルMD企画演習（オリジナル商品開発）等の授業科目を導入。販売職にとどまらず、総合職、企画職として就職できるカリキュラムを充実。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、Eの5段階で評定。D、Eは不認定となる。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。 	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	11人 (45.8%)	13人 (54.2%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界、スタイリスト事務所への就職をしており、就職希望者率が54%で、希望者内定率は85%となっている。</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>アパレル業界の業界説明を年2回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、万節指導なども適宜行っている。しかしながら2020年度はコロナ禍により大幅に制限された。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>商工会議所主催の販売士3級に17名合格。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77人	4人	5.2%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>主な理由は、ファッションではない学校への進路変更、学業不振など、学業に係るものが多いが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを行うようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1875 単位時間/単位	795 単位時間 /単位	1035 単位時間 /単位	45 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	125人	1人	6人	11人	17人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・ファッションビジネス学科 FA、プレス、バイヤー、SNS を駆使したインフルエンサー等のアパレル小売業界で活躍できる多様な人材を育成。販売員に必須の商品知識、販売実務、素材知識、コーディネート論に加え、マーケティングやMD、VMD 理論を学ぶため、幅広い授業科目の編成。1年次で全員が店頭で販売インターンシップに参加。2年次からはショップスタッフ、バイヤー、プレスインフルエンサーの中から選択コースへ対応した科目を選ぶ。選択科目は3コマ (全体の20%程度)
成績評価の基準・方法
(概要) 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、E の5段階で評定。E は不認定となる。
卒業・進級の認定基準
(概要) 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。
学修支援等
(概要) ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
58人 (100%)	0人 (0%)	23人 (40%)	35人 (60%)
(主な就職、業界等) 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界、スタイリスト事務所への就職をしており、就職希望者率が57%で、希望者内定率は73%となっている。			

<p>(就職指導内容)</p> <p>アパレル業界の業界説明を年2回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、万節指導なども適宜行っている。しかしながら2020年度はコロナ禍により大幅に制限された。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>パルカップ 関西服飾専門学校選抜 販売ロールプレイングコンテストで、準グランプリと優秀賞に2名が選出。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
123人	13人	10.6%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>主な理由は、ファッションではない学校への進路変更、学業不振など、学業に係るものが多いが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを取るようになっている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	スタイリスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1980 単位時間/単位	450 単位時間 /単位	1500 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140人	134人	0人	7人	9人	16人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>・スタイリスト学科</p> <p>アシスタントからキャリアアップし、スタイリストとなり幅広く活躍できる人材を育成。スタイリストに必須のスタイルプランニング、ヘアメイクアップ等の授業科目を柱に、スタイリング構成するための服作り（パターン・縫製）、素材、カラー知識、写真撮影技術等を学び、1年次後半からフィッター、アシスタントとしてインターシップに参加。実戦感覚を養う。プロのスタイリストを特別講師として招聘し、コーディネート能力向上を図る。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。成績評価は、A、B、C、D、Eの5段階で評定。Eは不認定となる。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数を修得することにより、進級、卒業が認定される。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得のための特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
44人 (100%)	0人 (0%)	29人 (65.9%)	15人 (34.1%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界、スタイリスト事務所への就職をしており、就職希望者率が89%で、希望者内定率は72%となっている。</p>			

<p>(就職指導内容)</p> <p>アパレル業界の業界説明を年2回開催し、インターンシップも実務的な実習内容で1週間から1カ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、万節指導なども適宜行っている。しかしながら2020年度はコロナ禍により大幅に制限された。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>スタイリングMAP検定プレイヤー級合格40名。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
126人	11人	8.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>主な理由は、ファッションではない学校への進路変更、学業不振など、学業に係るものが多いが、ほかには健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーションなどを行っている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学制度の指導なども実施している。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スーパーデザイナー 学科	300,000 円	670,000 円	335,000 円	
ファッションクリエイター 学科	300,000 円	560,000 円	345,000 円	
ブランドマネジメント 学科	300,000 円	670,000 円	335,000 円	
ファッションビジネス 学科	300,000 円	560,000 円	335,000 円	
スタイリスト 学科	300,000 円	560,000 円	335,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアドレス https://www.osaka-bunka.com/about/hyouka.html ・刊行物等の名称 自己評価報告書 (文部科学省ガイドライン準拠版) 		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校自己評価に取り組むことで、教職員が教育活動、学校運営の成果や課題を共有し、組織の活性化や学校運営の継続的改善を図る。学校関係者評価には、業界団体、企業、教育関係者、卒業生、保護者等を委員に選任し、自己点検・自己評価を通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検・評価の客観性、透明性を高め、情報公開する。 ・学校運営の現状や課題について、学校関係者と共通理解を深め、学校運営の改善に向けて連携効果を引き出す。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
協同組合関西ファッション連合部長	2020.4.1～2022.3.31 1年更新	業界団体
株式会社玉屋 常務取締役	2020.4.1～2022.3.31 1年更新	企業関係
マツオインターナショナル株式会社 執行役員	2020.4.1～2022.3.31 1年更新	企業関係
株式会社アーバンリサーチ 執行役員	2020.4.1～2022.3.31 1年更新	企業関係
シード株式会社 代表取締役	2020.4.1～2022.3.31 1年更新	企業関係
株式会社エーツー 代表取締役	2020.4.1～2022.3.31 1年更新	企業関係
株式会社エーツー	2020.4.1～2021.3.31	企業関係
大阪市立泉尾工業高校 教頭	2020.4.1～2022.3.31 1年更新	教育関係
文化すみれ会 会長	2020.4.1～2022.3.31 1年更新	卒業生
会社員	2020.4.1～2021.3.31	保護者
会社員	2021.4.1.～2022.3.31	保護者

<p>学校関係者評価結果の公表方法</p> <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアドレス : https://www.osaka-bunka.com/about/hyoka.html ・学校関係者評価委員会 議事録 (上記アドレスに公開)
<p>第三者による学校評価 (任意記載事項)</p> <p>第三者による学校評価は実施していない。</p>

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアドレス https://www.osaka-bunka.com ・学院案内パンフレット「SCHOOL GUIDE 2021-大阪文化服装学院」

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	大阪文化服装学院
設置者名	学校法人ミクニ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		115人	105人	116人
内 訳	第Ⅰ区分	71人	69人	
	第Ⅱ区分	28人	28人	
	第Ⅲ区分	16人	－	
家計急変による支援対象者（年間）				－
合計（年間）				117人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	—	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	—	人	人
GPA等が下位4分の1	15人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	—	人	人
計	19人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。